

2017年 Vol.9-1 (通巻13号)

ヤマユリ通信 開花号

◆ 本紙の主な内容 ◆

- 植栽地の開花情報 (岡上・梨子ノ木緑地 王禅寺・すぎのき緑地ほか)
- 麻生区内のヤマユリ“おすすめ観賞スポット”と開花予想
- <囲み記事> ヤマユリ里親制度と苗鉢頒布
- 麻生ヤマユリ植栽普及会からのお知らせ



平成28年11月、新たな植栽地・片平の「葉積緑地」に6球の成球根を植え付けました。明けて5月。立派な茎立ちが確認できました。7月にはきっと花をつけてくれるはずです。

**設立9年目
麻生の稀少遺産を未来
に残したい！**

石の上にも三年と言われますが、当会も今年で九年目に入りました。長ければいいものでもありませんが、継続は力なり！とも。

いつも感じるのですが、何年やってもヤマユリは難しい。昨年はずまくできたから、きっと今年も…と思っていると、開花が遅れたり葉がよじれたり、せっかく着いた蕾が開花寸前に落ちてしまったり…。

でも手のかかる子供ほど愛おしいのは、人間ばかりではありません。

◆
今年から「ヤマユリ里親制度(4頁参照)」をスタートさせました。難しいからこそチャレンジしたい！という方々が、たくさん集まってくれました。

みんなの知恵を集めて、孫や曾孫や玄孫や、もっとその先の『いつか生まれる君に』この気難しい花を残していきたいと思います。

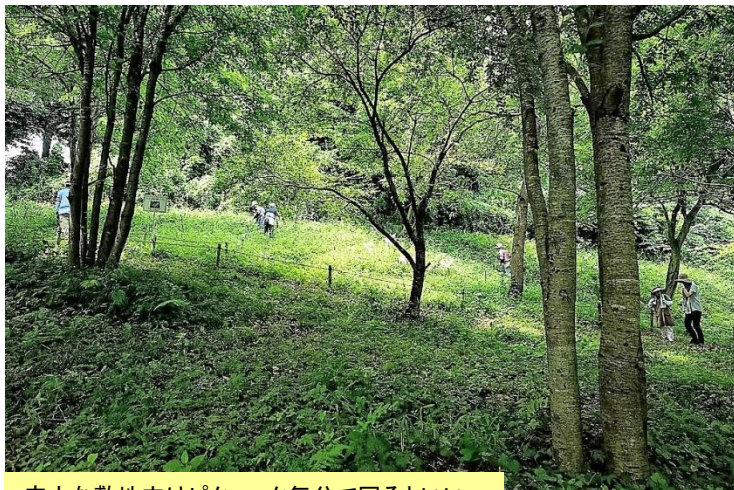
皆様のさらなる参加をお待ちしています。

開花情報 2017. 06

歩いて訪ねてほしい 岡上・梨子ノ木緑地

周りを横浜市と町田市に囲まれた岡上地区は、川崎市の飛び地として有名です。昔から柿生とのつながりが深かったため、川崎市に編入されたとか。

最寄駅は小田急線・鶴川駅。緑地近くまでバスが通じていますが、できることなら歩いて欲しい。行程は20分かかるが川や田んぼ、果樹園やバラ園、緑豊かな樹林帯が連なり、昔ながらの日本の原



広大な敷地内はピクニック気分で回るといい

風景が広がるからです。鶴川駅南口を出て鶴見川の清流にかかる橋を渡り小路を抜けると、パッと一面が開け、畑の中道が見える。右側の畑ではナスや里芋など、季節によつて作物は代わるが、左手には岡上小学校の体験田んぼなども…。



緑地へ向かう畑の中道



中道を抜けると、右手前方にこんもりとした樹林が見えます。ここが目的地、特別保全緑地・梨子ノ木緑地です。約1.8ヘクタールという広大な緑地の中の西側斜面に、ヤマユリゾーンがあります。斜面がきついため植栽活動には少々苦労しますが、5月に入つてヤマユリの茎立ちが確認できるとホッとします。

今年の生育状況は、すこぶる付きの順調さで、優に200本を超える開花が見込めそうです。特にうれしいのは、植栽地中央に植え付けた、種から育てた小球根たちが元気に育っていること。

◆株数が多いので、6月末から7月中旬まで楽しめます。

区役所へ出向くついでに見るなら市民館裏へ



区役所や市民館に出向いたついでに、ちよつとヤマユリを観賞したいなら、市民館裏が便利。

数は少ないが、駐輪場裏手の金網囲いの下に、当会女性会員たちが手塩にかけた純粹麻生区産のヤマユリが咲いています。

ここは当会のいわば実験場でもあります。足が弱くて遠出ができない方たちに身近でヤマユリを観賞してもらいたいと、7年前に開墾。

ビッシリとはびこつていた葛(くず)を徹底除去して、土壌や日当たりを研究し、種の直まきや自分たちで育てた小球根の移植法……などなどを実地検証しました。

今では、他の植栽地を凌ぐほど見事なヤマユリが開花しています。

◆見ごろは6月下旬ころ。

健脚者向き 王禪寺3か所巡り

王禪寺地区には3つの植栽地があります。それぞれ特色があり、3か所をめぐる、景観や土壌による微妙な変化を感じ取れるかもしれません。

まず急斜面の杉林で下から見上げる景観が素晴らしい、すぎのき緑地。王禪寺東から琴平神社方面に抜ける石段道路の両脇に、100株ほどが咲き誇ります。

次はまつのき緑地。大谷バス停の東側上部にある小公園で、松が生

える木立の間にヤマユリが点在しています
前記2か所から少し離れていますが、黒川尻手道路沿いにあるのが王禪寺公園。園内の散歩コースに約30株ほどが植えられています。

◆ 見ごろはいずれも7月上旬。



左はまつのき緑地、右はすぎのき緑地

ここでも見られます ヤマユリ開花スポット

昨年度(平成28年)、麻生区内で自生ヤマユリの開花が確認されたスポットを紹介します。(※昨年データであり、今年の開花を保証するものではありません)



● **白山神社**……かつては神社の周りに自生ヤマユリが数多く点在していましたが、今では神社裏に数株が残るだけ。それでも、1株に数輪の花をつける大株は今も健在です。

● **早野聖地公園付近**……五郎池から炭焼き小屋へと向かう径の右手、竹林を背景に咲くヤマユリは一見の価値あります。近隣の戒翁寺にも大株のヤマユリが。健脚者向きエリアです。

● **修廣寺と柿生緑地**……修廣寺では墓苑を中心にぽつぽつと。断崖に咲くヤマユリの群落は柿生緑地。全景を觀賞するには片平2丁目交差点から入って見上げるのがおすすめです。

● **汁守神社**……ここも有名な自生スポット。黒川の農産物直売所セレスモスの近くにあり。風の影響でしょうか、境内に咲くヤマユリは長い首を垂れ、まるで地を這うよう。

● **黒川よこみね緑地**……はるひ野にある緑地公園。湧水を水源とした水辺があり、あちこちにヤマユリが咲き誇っています。

● **高石神社**……百合丘駅の北西、急坂の上に建つ名刹です。石の鳥居から社殿へと続く参道の右斜面に7月初旬、自生のヤマユリが咲き始めます。

● **百合丘第一緑地**……丈高いイチヨウ並木の斜面に咲くヤマユリ。茂みから立ち上がり、堂々とした姿で花を咲かせます。

觀賞しやすい 万福寺おやしる公園

新百合ヶ丘駅北口からまつすぐ坂を下り、津久井道に出たら右へ50m、左手にあるのが、おやしる公園。よく整備された園内にはラベンダーなどの花も植えられています。当会の発足時からの植栽地で、今では100株を超えるヤマユリが生育しています。

◆ 開花は一番早く6月下旬。



遊歩道が整備されて歩きやすい

当会からのお知らせ 2017. 06

開花展示会

すでに夏の風物詩となったヤマユリの開花展示会を、今年も開催します。

野に咲くヤマユリを見たいけど、現地までは行けないので……

という方は、この展示会でご観賞ください。会員が丹精込めた開花鉢を展示し、併せてヤマユリに関する資料も展示します。

赤い腕章をつけた当会員が詰めていますので、ヤマユリに関する質問もお受けいたします。

● **展示日程**…6月26日(月)～7月7日(金)

● **展示場所**…麻生区役所・玄関ロビー



ヤマユリ里親制度について

この春、種から発芽させた苗鉢を麻生区民に無償配付し、併せて育苗に関する講習会を開催しました。

ヤマユリは種をまいてから開花するまで4～5年かかります。春に発芽しては秋に枯れ、また翌春に発芽して生長し、秋には枯れます。これを繰り返し、ゆっくりゆっくりと地下の球根を肥大させます。時間はかかりますが、ウィルスなど病気を受け継がない健康なヤマユリを育てることができます。

この育苗ノウハウを体得し、生長した球根を緑地に返す……こんな育成循環が実現できたら、素敵ですよ。

当会では、このヤマユリの赤ちゃんを引き取って育ててくださる方を募集します。苗鉢の配付は4月頃。育苗中の疑問、相談にも応じます。ぜひご参加ください。

◆参加条件等の詳細は、秋には発表しますので楽しみに。



1年後の苗鉢。外を別の鉢でカバー。

配付する苗鉢

ヤマユリ開花情報

昨年大好評をいただきました植栽地をめぐる観賞会ですが、今年は諸般の事情で開催を見送ります。代わって当会ホームページで、植栽地の最新情報を発信します。

スマホの方は左のQRコードから、パソコンの方は下段URLから、お入りください。



http://www.geocities.jp/kurakata_4021_1470/mokuji_y

会員募集

麻生ヤマユリ植栽普及会は、麻生区内の公園や緑地でヤマユリの自生復活を目指して活動しています。その活動内容が、地域課題対応事業としてふさわしいとして、麻生区の指定を受けています。

活動は、4つの植栽地域に分かれて月1回の植栽維持活動を行います。作業量も大人の土いじり程度です。

いきなり会員には……という方のために、好きなときだけ参加できる賛助会員制度もあります。お気軽にどうぞ。

● **問い合わせ** 事務局まで

麻生ヤマユリ植栽普及会への各種お問い合わせ、およびヤマユリ通信の記事内容についてのご照会はこちらまでお願いいたします。

●事務局 ☎090・2565・3390 事務局長 山田 栄二

☆ 編集責任 高橋 雄介